国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

プレスリリース

平成 27 年　6 月　8 日
独立行政法人国立科学博物館

地球館Ｉ期（北側）展示
リニューアルオープン詳細発表

国立科学博物館（館長　林 良博）では、平成 27 年 7 月 14 日に地球館Ｉ期（北側）展示をリニューアルオープンします。

昨年９月から展示改修工事を進めておりました地球館Ｉ期（北側）は、平成２７年**７月１４日（火）にリニューアルオープン**いたします。また一般公開に先立ちまして、前日の**１３日（月）には報道内覧会・リニューアルオープン記念式典**を実施いたします。

つきましては、広報について格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【報道内覧会･リニューアルオープン記念式典】

７月１３日（月）
　１２：００　受付開始
　１２：３０　報道内覧会
　　～１４：３０
　１５：００　記念式典、特別内覧会

※時間は予定です。報道内覧会開催のご案内は、７月初頭にお送りいたします。ご多忙とは存じますが、是非ご観覧・ご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

７月１４日（火）：一般公開開始

【広報担当連絡先】
独立行政法人 国立科学博物館
事業推進部広報・常設展示課 広報担当（園山・土屋）
〒110-8718　東京都台東区上野公園７－２０
TEL:03-5814-9855　／　FAX：03-5814-9898
E-mail: shuzai@kahaku.go.jp
国立科学博物館ＨＰ http://www.kahaku.go.jp/

リニューアル展示 各フロアの概要

改修後の展示では、展示総合テーマ「人類と自然の共存をめざして」に基づき、最先端の科学的知見をふまえた新しい展示となること、そして、子供から専門家まで多様な人々が先端的な科学の世界を楽しむことができ、科博や科学との“対話”を育むことができる場となることを目指しました。

■ 地球史ナビゲーター（１階）

宇宙史・生命史・人間史の壮大な物語をテーマとした、標本・資料と映像でたどる 138 億年を一望する時間の旅。地球館の展示室全体を繋げるシンボルゾーンとなります。

■ 地球の多様な生物たち　ー海洋生物の多様性ー（１階）

地球上の生き物は、進化の大きな流れの中で誕生と絶滅をくり返し、1000 万ともいわれる種に分かれてきました。生き物たちがさまざまな景観をつくり、それぞれの生態系のなかでたがいに深く関わり合って生きている姿を紹介します。海洋生物の多様性では、光合成生態系と化学合成生態系に着目します。

■ 地球の多様な生物たち　ー生物多様性の保全ー（１階）

生物の多様性は、地球上のあらゆる場所に息づいています。私たちの生活が、生物多様性の上に成り立っていることを忘れてはならず、積極的に保全に努める必要があることを紹介します。

■ 科学技術で地球を探る（２階）

観測ステーションでは、変動する地球の様子を示す画像やデータを準リアルタイムで紹介。その観測技術の基礎である光や磁気などに関する物理学分野を、多数の体験型展示を通して直感的に体感できるよう工夫し、さらに地球物理学的な知識を、磁場など身近な現象を入口に紹介します。

■ 親と子のたんけんひろば　コンパス（３階）

未就学児とその保護者が魅力を感じるように遊びの要素を取り入れるとともに、コミュニケーションを促す仕掛けを多数用意しました。標本を間近にしながらの保護者とのコミュニケーションにより、博物館体験を家庭生活という「日常」に持ち帰り、そこから子供たちが博物館や自然科学を身近に感じ、考える契機となることを目指しています。

■ 地球環境の変動と生物の進化　ー恐竜の謎を探るー（地下１階）

現代の爬虫類と鳥類は全く異なる生きものですが、恐竜の研究を通してその進化の連続性が次々と明らかになってきました。恐竜の起源、大型化、多様化、絶滅とその謎はつきません。もの言わぬ化石から、私たちはどれだけ多くの証言を聞き出すことができるのでしょうか。

■ 自然のしくみを探る　ー私たちの世界はどのようにできているのかー（地下３階）

広大な宇宙や神秘的な生命、それを構成する物質と、これらを支配する法則 ―それらを知ることは、すべての科学的認識の基礎といえるでしょう。私たちの視野を広げ、自然についての理解を変えてきた探求の成果と、それに貢献した人たちを紹介します。

チラシ掲載の写真を、広報画像としてご提供します。広報担当宛（shuzai@kahaku.go.jp）ご連絡ください。

■広報画像のご使用は、当館をご紹介いただける場合に限らせていただきます。それ以外のご使用はご遠慮ください。
■写真掲載時に当館の開館情報等基本情報を記載いただく場合は、内容確認のため掲載前に校正紙をお送りください。
■掲載いただいた場合は、掲載紙等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

※ポスター、チラシも配付いたします。ご希望があればご連絡ください。

2015
7.14
Tuesday（火）

国立科学博物館 地球館（北側部分）
リニューアルオープン

［常設展示入館料］
○一般・大学生：620円／団体310円
○高校生（高等専門学校生含む）以下・65歳以上：無料

［所在地］
〒110-8718　東京都台東区上野公園7-20

［電話］
03-5777-8600（ハローダイヤル）

http://www.kahaku.go.jp

「親と子のたんけんひろば」も新たに開設！

独立行政法人
国立科学博物館（東京・上野公園）
National Museum of Nature and Science

新しい地球館をご紹介！

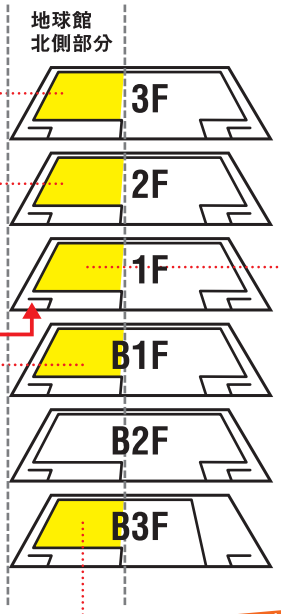
（北側部分）

1999年の公開より15年もの間、臨場感あふれる展示で皆さまに愛されてきた地球館（北側部分）。
総合展示テーマ「人類と自然の共存をめざして」のもと、この夏リニューアルオープンします！
新しい展示は、子供から専門家まで多様な方々が先端的な科学の世界を楽しみ、
当館や科学と“対話”できる場となることをめざしました。
最先端の科学的知見をふまえた展示を、どうぞご覧ください。

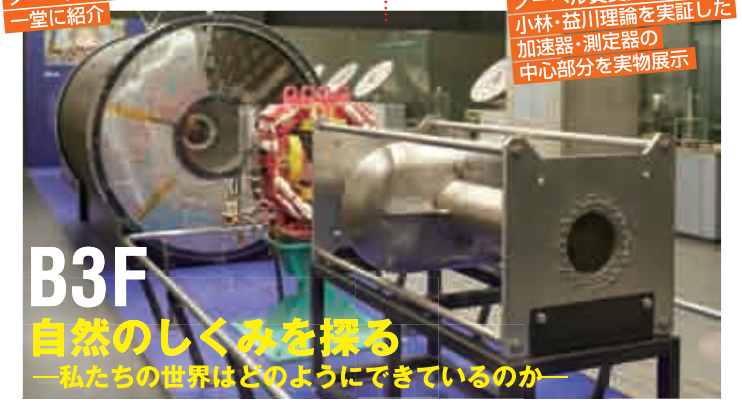
宇宙史・生命史・人間史の壮大な物語をテーマとした、
地球館の展示室全体をつなげるシンボルゾーンが完成。

未就学児と保護者を主な対象に、
楽しく科学に出会う展示コーナーを新設しました。
※入室整理券による当日予約制。

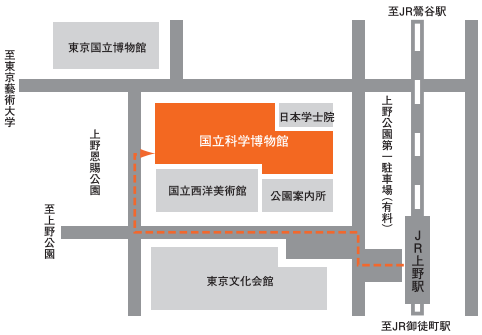
変動する地球の姿をとらえる科学技術について、
体験型展示を中心に紹介します。



最新の恐竜研究の成果を展示に反映させるとともに、
恐竜の多様性を実感しやすい展示空間に変身させました。



私たちの視野を広げ、自然についての理解を変えてきた
科学的探究の成果と、それに貢献した人たちを紹介します。



交通のご案内

- ●JR「上野駅」公園口から徒歩5分
- ●東京メトロ銀座線・日比谷線「上野駅」から徒歩10分
- ●京成電鉄「上野駅」から徒歩10分

（駐車場はありませんので、車での来場はご遠慮下さい。）

http://www.kahaku.go.jp

住所：〒110-8718東京都台東区上野公園7-20
お問い合わせ：ハローダイヤル03-5777-8600

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

日本初公開の
実物化石を
多数展示！